

稲門フィラテリー

第76号

2020年6月1日発行

外国印刷会社の日本進出秘話

国際証券印刷株式会社 International Security Printers Ltd. (ISP)

小林 彰

はじめに

日本郵便株式会社の前身、郵政公社の時代に国立印刷局と凸版印刷(株)に加えて外国の印刷会社である英国ウォルソール証券印刷会社 Walsall Security Printers Ltd. (以後、ウォルソール社)と仏国カルトール証券印刷会社 Cartor Security Printing S.A.S. (以後、カルトール社)も事前の資格審査に合格し、指名入札に参加できるようになりました。

なお、資格審査に当たっては財務関係、印刷技術、工場のセキュリティを調査するため、郵政(切手・葉書部)から各印刷会社の当該工場に責任者を派遣し、これら諸点に問題ないことが確認されます。

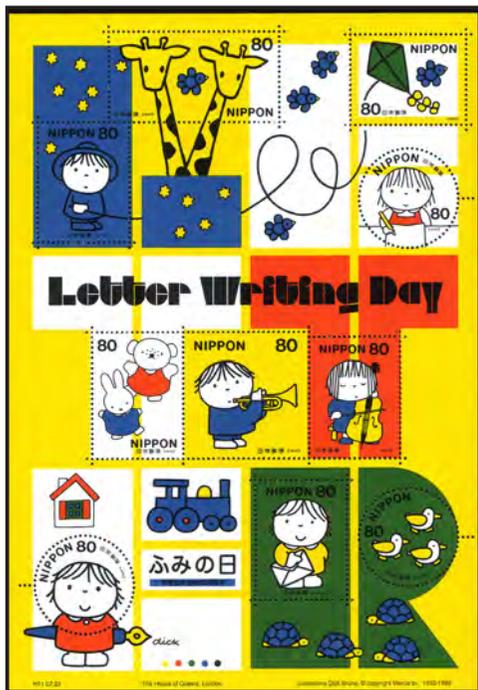
かつては郵便切手類の製造が自国で出来るかどうか、その国の技術水準の目安となり、また一流国の証で国威発揚の一要素でもありました。現在ではそのような思考は時代遅れで、郵便切手の調達に外国の印刷会社も入札に参加させ、価格の低減を図ると共にガラパゴス化しないという意味があったものだと思います。また、自然災害大国である日本では、1923(大正12)年の関東大地震で王子の印刷局が壊滅的被害を受け、民間会社で震災切手の製造を余儀なくされた経験を踏まえ、製造の分散化も考慮されました。

その後、日本郵政公社は民営化され、銀行、保険と郵便の業種別に三分割され、郵便は日本郵便(株)に引き継がれたことはご承知の通りです。

1. 外国印刷会社の日本進出(郵政省時代):

外国印刷会社が日本郵政発行の切手を印刷するようになった経緯をご紹介します。それは1999(平成11)年のことでした。当時の郵政省郵務局長が発した「切手が四角でなければならない理由はあるまい。円形切手も考えたらどうか」の一言がきっかけでした。これを受けた切手デザイン担当課長が「ふみの日」の小型シートにオランダのディック=ブルナー Dick Bruner のアニメを円形切手内に収めようと考えました。日本の印刷局と英国のケスタ Questa 社が指名入札に参加しました。そして円形目打で実績のあるケスタ社が受注したのです[図-1]。

しかし乍ら同社は各国で採算を度外視した安値受注を繰り返していたため、経営危機に瀕していました。このような財政状態で日本から大口受注しましたが、生産技術が追いつかず多量の不良品を発生させ多大な損失を被ったのです。この窮状を救うため英国のデ



[図 -1] 1999 年発行「ふみの日」

ラリュウ De la Rue 社がケスタ社を買収しましたが、時すでに遅くケスタ社は市場から姿を消しました。別な言い方をすれば、デラリュウ社に見限られ倒産したのです。

2. 普通切手の発注（郵政公社時代）：

郵政民営化の掛け声が大きくなり、2003（平成 15）年、郵政省は郵政公社となりました。普通切手は伝統的に国立印刷局が独占的に製造していましたので単価が高く、郵政公社では価格低減を策し競争原理を導入したのです。

このため外国の 4 社に声をかけ、見本としながらも実質的には需要を満たすべく大量発注でした。オランダのエンスケデ社 Joh. Enschede Security Print（以後、エンスケデ社）にはオシドリ 90 円券を 1 000 万枚、英国のウォルソール社にはモズ 120 円券 1 000 万枚、デラリュウ社にも大量発注の予定でしたが、同社は受注直前に辞退、俗な言い方をす

れば「ドタキャン」でした。同社は時を置かず郵便切手市場から手を引く積りだったのでしよう。

他方、カルトール社にはあくまで見本券としてイカル 140 円券を 10 000 枚だけが発注されました。エンスケデ社とウォルソール社の 1 000 万枚に比べ 1000 分の 1 という少量、しかも純然たる見本券として発注されたのは、前記 2 社がグラビア印刷であるのに対しカルトール社はオフセット印刷しか出来なかったからです。この当時、偽造防止にはグラビア印刷が相応しく、オフセットは不適合と言うのが常識でした。

3. モズ 120 円券の流失事件：

ウォルソール社が製造中のモズ 120 円券は流通用に発注されたのですが、大問題が起きました。製造途中の仕掛品が社外に流失し、たまたまスペインで開催中の国際切手展に足を運んだ日本の収集家の手に渡ったのです。幸いな事に流失品はウォルソール社が全量買戻しに成功し市場に出回ることはありませんでした。ウォルソール社は入札指名停止となりましたが、この重大さから当然の成り行きでしょう。

当時、横浜中心に試験的にバーコード付普通切手が発売され、郵趣家間で奪い合いとなり、当局の目論見が外れるという事態となったことはご存知のとおりです。新銘版騒ぎを恐れ、郵政公社ではウォルソール社の 120 円券に加えエンスケデ社の 90 円券も発売せず死蔵し、日本郵便株式会社誕生の 2012（平成 24）年 10 月 1 日寸前に全量が処分されました。このようにウォルソール社とエンスケデ社、それぞれの銘版付き普通切手の出現は露と消えました。因みに、ウォルソール社の

指名停止が解除されたのは日本郵便株式会社誕生の直前でした。

4. カルトール証券印刷株式会社 Cartor

Security Printing S.A.S. :

カルトール社は第二次世界大戦後の 1957 年頃に北フランスのエーグル Aigle 市で創業されました。当初はワインの瓶に貼付するラベルなど付加価値の低い印刷が主体でした。なお、カルトールとはフランス語のカルト・ドール Carte d'Or (黄金のカード) が語源で、カルト・ドールがカルトールに転化したものです。

1974 (昭和 49) 年に証券印刷を手掛け始め、最新の製造技術を導入し近代化を図り、証券印刷の基礎研究から製品化までを手がけました。そして、この機会に新工場をパリ Paris の西方、ステンド・グラスで有名なシャトル大聖堂 Cathédrale de Chartres から車で 30 分ほどのラ・ループ La Loupe 市の工業団地内に建設したのです [図-2, 3]。



[図-2] La Loupe 市内工業団地内
カルトール社本社工場



[図-3] フランス国鉄 La Loupe 駅

この団地は新興のため、当初は地名表示がありませんでした。団地内には印刷関係企業が多かったため、フランス国内でありながら、「ローランド = ヒル大通 Avenue de Rowland Hill、グーテンベルグ工業団地 Zone Industrielle Gutenberg」と公式に命名されました。

2004 年からカルトール社は日本郵政公社の指名入札に参加し、初受注は 2005 年 1 月 11 日発行の「国際防災世界会議」切手でした [図-4]。



当初は郵政公社の納入検査基準が厳しく、納品の都度、様々な瑕疵を指摘されました。1 封包は 100 シートが「内容表示票 / 50 シート / 間紙 / 50 シート / 底紙」で構成されますが、101 シート、あるいは 99 シートと数量瑕疵が頻出しました。製造上 101 シートの封包があれば 99

シートの封包も出る「国連防災世界会議」のです。その他、異物がシリンダーに付着すると印刷不良となります。シートの折れ、目打不良、裁断不良などなど毎回違う瑕疵が出現し、正に不良品のデパートでした。

特に数量瑕疵に対しては厳しく指名停止処分を受けたことも一度や二度ではありません。ある時、契約納入日の朝、郵政公社本社の担当係長から連絡があり、北海道物流センターへの納品が 2 封包不足している。今日

中に不足分 2 封包を同センターに届けて欲しいと緊急要請を受けました。フライトの関係で現地着は夜の 10 時。その旨、本社長係長経由北海道物流センターに確認した結果、夜 10 時に来られても困るとの返事。従って 1 日遅れで届けましたが、契約納期を 1 日遅れたというだけで 1 週間の指名停止処分を受けました。忘れられない事態です。以後、幸いなことに納期遅延を起こしておりません。

郵政公社の厳しい検査に対応するため、製造技術などの改善を図るとともに CCD カメラによるコンピュータ制御自動検査機も導入し、年と共に不良品の発生は激減し、郵政の信頼を得られるようになりました。

他方、郵政の受入れ検査も柔軟になっています。公社時代は日本切手を外国に発注することにアレルギーがあり、何とか瑕疵を見つけ不合格にしようという態度でしたが、民営化後は出来る限り合格判定しようという寛容な姿勢に変わっています。

5. スイス・クールヴォワジエ Courvoisier 社：

クールヴォワジエ社はアレキサンドル＝クールヴォワジエ Alexandre Courvoisier により 1880 年にスイスのニューシャトル県ラ・ショウ・デュ・フォン Neuchâtel La Chaux-de-Fonds で創設され 100 年以上も継続した同族会社でした。当初は各種印刷、特に地方新聞 Impartial (公正) を手掛けていましたが、1931 年にギド＝エシグ＝クールヴォワジエ Guido Essig-Courvoisier 氏が郵便切手印刷グラビア部門を創設したのです。1950 年代にはグラビア印刷で郵便切手を製造していた主要印刷会社の一社でした。1986 年にはグラビア部門の従業員は 70 名

を数えました。そして当時、60 数か国の切手をスイスで印刷していたのです。地元のスイスを別にすると、台湾、ルクセンブルグとリヒテンシュタインが重要な顧客でした。さらに郵便切手印刷を委託するアフリカ諸国を増やしていきました。特にモロッコ、アルジェリア、チュニジアに加えエチオピアも長年の重要客先でした。しかしながら、これらアフリカ諸国は主客にはなりえないことを悟りました。需要が少なく受注数量が採算分岐点を下回っており、グラビア印刷での収益性を思い知らされたのです。

他方、オフセット印刷の技術が 1980 年代後半から脚光を浴び、それまでの歴史ある印刷技術が脅かされるようになりました。カダフィ將軍のリビアはクールヴォワジエに前にも増して発注し、モーリタニア、ジブチ、チャド、ニジェール、マリ、象牙海岸、ベナン、ガボン、コンゴやバチカンと香港が後に続きました。

しかし時代の波はクールヴォワジエに容赦なく襲いかかったのです。フランスのエーグル市を拠点としたカルトール社が市場の立役者でした。しかし 1987 年にカルトール社は売りに出されました。同社はオフセット印刷に特化しており、投資家はエーグル市には興味を示さず、クールヴォワジエに巨額を投じたのです。当時話題になった逸話があります。1959 年発行の「ジュネーブ大学創立 400 年」の記念切手です [図 -5]。これは仏語圏で笑



[図 -5] 1959 年スイス発行
「ジュネーブ大学創立 400 年」

いものになりました。《Calvin bèze Helvetia カルヴァンがヘルベチア(スイス)にキスして》[筆者註：カルヴァンはフランスの宗教家で16世紀にジュネーブで宗教改革を進め、カルヴァン派を起こした]。

1960年以來、散発的に出現していたシール式切手は1990年末になると本格的に発行されるようになりました。クールヴォワジエ社には性能の良い印刷機がなく、仕方なく6色ロータリー式印刷機を改良したのです。工場では切手帳を製造、その表紙を2色で印刷しましたが、目打工程は難しく、いわば手工業的方法でしか実現できませんでした。試行錯誤の末、結局は目打(ダイカット Die-cut 方式)を施すことが出来ず問題が生じました。スイス郵政はその時リストラの渦中にあり、この歴史ある印刷業者に対して要求を明確に示さず、シール切手への移行が出来ませんでした。このため、スイス郵政は持ち株を売却し、1931年から2001年までラ・ショ・ドゥ・フォンの花形であった印刷会社の終焉が足音を発てて迫ってきたのです。皮肉なことに終焉前の3カ月は最後の注文が殺到し工場は大忙しとなりました。

2001(平成13)年、百獣の王が死を迎えます。工具を載せたトラック2台がアフリカに向けて出発し、またある機械はウクライナに、そしてグラビア6色ロータリー式グラビア印刷機とシリンダー、目打工具、在庫の印刷用紙はウォルソール社に引き取られ、顧客も同社に引き継がれました。

このグラビア印刷機は引き取り当初はカルトール社の工場の片隅に仮置きされ、数年後にウォルソール社のバーミンガム工場に移設され、その後処分されました。筆者はカルトールの工場を訪問の都度、放置されている哀れ

なグラビア印刷機を目にしましたが、悲嘆にくれ涙しているようでした。

6. ウォルソール Walsall Security

Printers Ltd. 社：

ウォルソール社は1892年英国バーミンガムで設立されたウォルソール石版印刷会社を源流として、1960年に郵便切手の製造を主体とするウォルソール証券印刷会社として新たに出発したのです。1913年にはドイツからシール用印刷機を輸入しましたが、50年後にトンガ王国向けに金箔にエンボス加工した特殊切手の製造に使用されました。

ウォルソール社が日本郵政から受注した記念・特殊切手は2004年に3件、「フレーム切手の基盤シート」、凹版とオフセットの掛け合わせ印刷「文化人切手」3種(小泉八雲、イサム・ノグチ、古賀政男)[図-6]とグラビア印刷「科学とアニメ・ヒーロー、ヒロイン・シリーズ第6集ドラえもん」でし

た。喜びもつかの間、多量の不良品が発生し問題となりました。以後、今日まで日本郵便に納入したウォルソール製の切手はありません。ただし、2007年6月22日発行「国土緑化・北海道」の銘版はCartorとなっていますが、実際はウォルソール社でグラビア印刷されました[図-7]。



[図-6] 2004年発行
「文化人切手・小泉八雲」

目打も針で抜く伝統的な方法ではなく、いわゆるシェービング Shaving 方式でした。その後、バーミングガムの本社工場を売却し、同地から 20km ほど北にあるウォルバー・

ハンプトン olverhampton 工業団地内に新工場を建設し [図 -8]、2014 年エリザベス女王陛下のご臨席のもと落成式が挙行されました [図 -9]。



[図 -7] 2007 年発行「国土緑化・北海道」



[図 -8] ISP (ex-Walsall) Wolverhampton 新工場 外観



[図 -9] エリザベス女王陛下御臨席の下、Wolverhampton 新工場落成式

7. 国際証券印刷会社 International Security Printers Ltd. (ISP) :

2007 (平成 19) 年にウォルソール社のオーナーだったアスピナル Aspinal 一族が 2004 (平成 16) 年に設立した持株会社、国際証券印刷会社 International Security Printers Ltd. (以後、ISP 社) にカルトール社は買収され同社の傘下に入りました。この時まで各国で競合していたウォルソールとカルトールは兄弟会社となったのです。

カルトール社が ISP 社の傘下に入る前の社長は郵便切手印刷業界でも郵趣界でも著名だったジル＝ル＝ボウ Gilles Le Baux 氏でした。その後、ウォルソール社の幹部だったイアン＝ブリガン Ian Brigham 氏とポール＝ホワイト Paul White 両氏が老齢のアスピナル氏から ISP 社を買取ったのです。そしてブリガン氏はカルトールの、ホワイト氏はウォルソールの社長に就きました。その後、ブリガン氏はホワイト氏所有の全株を取得し、ISP とカルトール両社の社長となり現在に至っています。

日本郵政公社民営化後、日本郵便株式会社との契約はすべて ISP 社名義ですが、シート上の銘版は Cartor Security Printing としています。カルトール社の方が日本では知名度が高いからです。

普通切手については前述のように、当初オフセットは偽造され易いという認識で、長い間入札への参加が認められませんでした。しかし乍ら、オフセット印刷技術の向上と共に

世界的にあらゆる分野で凸版印刷に代わって採用されるようになりました。郵便切手印刷でも偽造され易いという過去の認識が払拭されたのです。このような時代の趨勢に日本郵便も追従し、ISP社も普通切手の入札に参加できるようになりました。

2018(平成30)年に需要の少ない1円、5円、50円券と20円、30円券が別々の入札にかけられ、これら5券種すべてをISP社が落札することができました。数量が少ないため、カルトール社がオフセット印刷で製造しました。

しかし難題を乗り越えねばなりません。従来は印刷局がグラビアで製造していて、図案は1円前島密、5円ニホンザル、50円ニホンカモシカ、20円ニホンシカ、30円キタキツネでした。印刷局がグラビアで製造した同じ図案を同じ色調でオフセット印刷しなければなりません。印刷方式だけでなく、用紙もインクも違うメーカーの製品を使わざるを得ません。かかる条件下で印刷局製と見分けがつかないように、というのが日本郵便の要求でした。校正を繰り返し校了となった時、喜びと同時に安堵し虚脱感に見舞われました。このような苦労のお陰で2019年度は同じ券種を、2020年度は廃止された30円券を除き引き続き受注できました。

余談ながら、普通切手を初めて国立印刷局以外が製造したことが郵趣界で話題になり、Cartor 銘版に人気が集まりました[図-10]。現在、ISP社では、日本郵便向けが大部分を占めますが、オフセット枚葉式印刷はカルトール社の担当、ウォルバー・ハンプトン工場(ex-Walsall)はグラビア印刷とオフセット・ロータリー式印刷に加えて、カルトール社が日本郵便向け切手をオフセット印刷した

後工程の丁合、裁断、包装、梱包をも担当しています。なお、2020年お年玉小型シートは大量のため、ウォルソール社がグラビア印刷しています。



[図-10] Cartor Security Printing 銘版：
1、5、50、20、30円 普通切手

[参考 1]

ISP 社 英国工場 (ex Walsall) とフランス工場 (Cartor) の設備と製造能力：

従業員：ISP 社 110 名、カルトール社 50 名。

特 徴：ISP 社はロール状用紙にグラビアおよびオフセット方式による少品種大量印刷。

カルトール社は枚葉紙にオフセット方式多品種少量生産。

設 備：ISP 社 10 色グラビア印刷機 x 1、12 色オフセット印刷機 x 1 カルトール社 7 色オフセット印刷機 x 2

製造能力：ISP 社 年間 50 億枚 / シフト

カルトール社 年間 25 億枚 / シフト

そ の 他：英国での切手印刷会社は ISP 社 (ex Walsall) 1 社のみとなり、英国郵政の郵便・切手類製造を独占受注しています。

[参考 2]

2019 年度日本郵便株式会社向け記念・特殊切手の各社の受注状況：

ISP (Cartor)	24 件 (51%)
凸版印刷	15 件 (32%)
国立印刷局	2 件 (4%)
Enschede	4 件 (9%)
Phil@poste	2 件 (4%)
計	47 件 (100%)

おわりに

金融業界ではキャッシュレス化が進み、銀行業務の大改革が進められています。郵便を含む物流業界もまた然り。郵便料金を切手で支払う旧来の方法も早晚姿を変えるでしょう。各国郵政にとって、相応しいのは、より多くの切手が販売され死蔵されること。仕入単価に比べ、郵便料金は遥かに高いからです。しかし、郵便料金での収益は郵政全体から見れば微々たる割合だと思われまます。

日本郵便 (株) の記念・特殊切手年間発行件数は世界第一位。第二位のフランスでも日本の約半数の由。熱心な収集家さえも乱発される新切手には背を向けています。切手印刷業界にとって、かかる状況は短期的には歓迎

でしょうが、長期的には時代の変遷に追従せざるを得ないでしょう。果たして 10 年後にも現在のような郵便切手が発行されているでしょうか。

ところで「新型コロナ・ウイルス」が世界全体に蔓延し、医療・社会・経済などに大きな打撃を与えています。かかる状況で ISP グループはじめ各印刷会社の製造能力は著しく低下しており、各国郵政の新切手発行計画に影響を及ぼすでしょう。また、郵趣界では本年 5 月に予定されていたロンドン国際切手展始めその他の国際展、国内展も例外なく延期あるいは中止されています。しかしながら、外出自粛で自宅待機が強く要請されている現在、収集家はコロナに負けず自宅で郵趣三昧 (?), この趣味の有用性を世界に発信したいものです。

謝意

本稿は日本郵趣協会「英国切手研究会」2020 年 3 月号に掲載された拙稿を、同協会・理事長・池原 郁夫氏と同研究会・会長・伊藤 淳氏のご諒解を得て、一部変更して本誌に転載させていただきました。

また、原本作成に当たっては、元稲門フィラテリー会長で (株) 英国海外郵趣代理部社長の小西邦彦氏から貴重な情報を惜しみなく提供いただき、さらに査読をお願いいたしました。従って、本稿は小西氏との共著でもあります。

上記皆さまのご指導・ご支援のお陰で本誌に寄稿することができました。末尾ながら各氏には衷心より謝意を表します。ありがとうございました。

[参考文献]

フランス月間郵趣誌 Timbres magazine No.216 Novembre 2019 掲載

Benjamin Busch "Sur les traces d'Hélio Courvoisier S.A."

フィンランドからの手紙

早大一家である青木会員からフィンランドからの手紙が送られてきた。青木会員のお兄さんに送られてきたヘルシンキオリンピック記念印の押された航空書簡である。オリンピック選手として派遣された早大水泳部7人からである。生年若き会員であればなつかしきノイズ混じりで周期的に音量の変化する短波放送にかじりつき、戦後初の金メダルレスリング石井庄八、橋爪四郎、古橋廣之進等の活躍に胸をふるわせた記憶があるのでは。

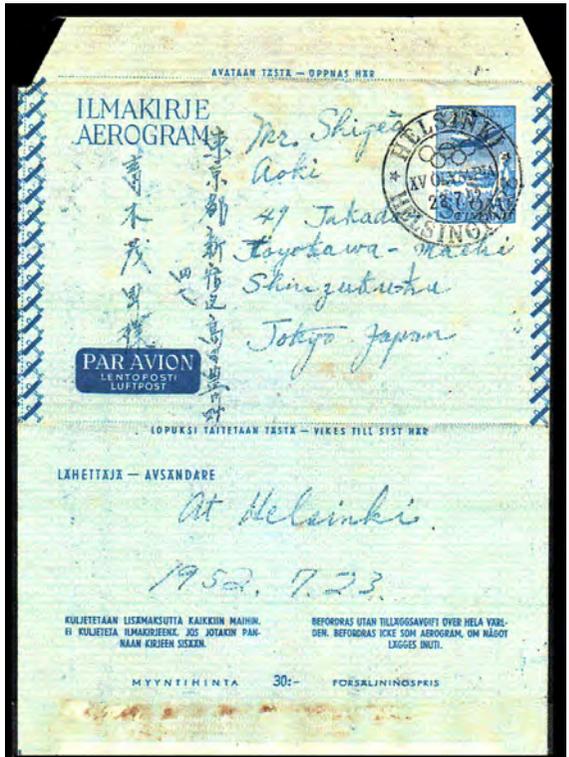
日本選手は72名が参加、メダルはレスリング、競泳、体操などで金1、銀6、銅2という結果であった。残念ながら水泳部7人はメダルにとどかなかった。ただ、200メートル平泳ぎで6位であった長沢二郎氏は記憶される方である。当時の平泳ぎはバタフライ様の手の掻きで現在とはだいぶ異なっていたようである。翌メルボルン大会でバタフライは正式種目になった、その間に長沢氏が200mバタフライで世界新を記録、「ドルフィンキック」を考案したといわれて、1993年に国際水泳殿堂入りしている。 編集子

7人の方の健闘結果

- 田中純夫 (早大) 男子 400m 自由形：準決勝 7 位
- 田中寧夫 (早大) 男子 400m 自由形：準決勝 2 位
- 北村康雄 (早大) 男子 1500m 自由形：6 位
- 梶川孝義 (早大) 男子 200m 平泳ぎ：5 位
- 長沢二郎 (早大) 男子 200m 平泳ぎ：6 位
- 浅野満 (早大) 出場せず 田中守 (早大) 出場せず



フィンランド発行ヘルシンキ大会記念切手



拝啓
永らくご無沙汰致しました。先生には増々御健勝の事と遠察致しております。私共も日本を離れて早一ヶ月程になりストックホルムの二週間を終えて目的地ヘルシンキに到着しました。十九日入場式があり七十ヶ国の代表選手が威風堂々誠に壮観でした。二十日から主競技場に於いて競技が開始されましたが新聞ですでご存知の事と思いますが、仲々の健闘で今日はレスリングの決勝が行われるところです。私共水泳は二十六日に始まり八月二日まで行われます。皆好調故良い結果が期待出来る事と思ひます。私共のオリンピック村は競技場近くの町はずれにあり男子のみの役員選手約五十名がアパート式の四階建の家に住んで居ります。食事は大きなテントで皆一緒にやり仲々賑かです。時節柄御自愛の程を
田中寧夫 浅野 満 北村康雄
田中守 梶川孝義 長沢二郎 田中純夫

氏名部分表示
形式変更

花と鳥の小さな自然誌

高橋 仁

定年退職後、新潟県立植物園でボランティアとしてお手伝いをしていた時期があった。植物園での仕事は、主に植物標本作成である。当然のこと、話題は野に咲く草木に向けられている。そして、植物標本の採集に同行させてもらったり、観察会に参加したりしているうちに野の花の美しさを教えられ、カメラにおさめる楽しさを知った。

実際に野山に足を運ぶと植物だけでなく、鳥たちとの出会いもあった。さらに、遠出をしなくても、憧れの鳥たちを撮影するチャンスがあることを教えてもらった。そこで、これまでに出会った印象的な花や鳥のちょっとした物語を綴ってみることにした。

花語り

ミズバショウ

「地図にない湖」といわれたほどの湿地だった亀田郷の田んぼ。昭和40年ころ、当時の横越村の親戚の家の近くにその名残である葦原が残っていて、ミズバショウが咲いているとのことなので行ってみた。そして、1株掘り起こして我が家の池に植えた。

以来50有余年、その葦原は耕地整理され、



我が家の池 2018.4.4



五泉市・水芭蕉公園



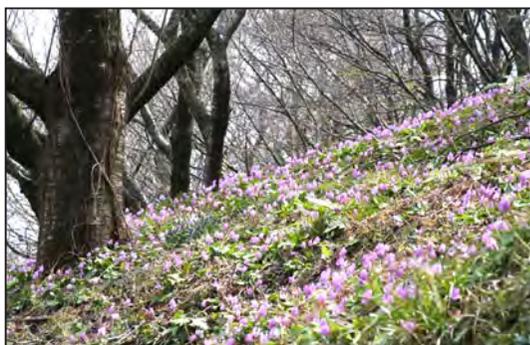
きれいな田んぼになっていてミズバショウはとっくになくなっていた。しかし、我が家のミズバショウは株数も増え、白い花を咲かせ続けてくれている。

「夏がくれば思い出す・・・」という尾瀬のミズバショウを歌った唱歌があるように、花期は夏のような印象がある。しかし、五泉市、胎内市にある群落や我が家では、4月上旬から咲き始める。



カタクリ

新潟日報の読者投書欄「窓」に、カタクリの文字が見えた。その投稿は、毎年カタクリを見に行くのを楽しみにしているとのこと、運が良ければ白い花の個体も咲いているかもしれないというものであった。そこは、村上市の「諸上寺公園」である。



村上市・諸上寺公園



瀬波温泉の近くの丘陵で、県道新潟・村上線から少し上った駐車場からは、日本海が見下ろせた。そして、歩き出してすぐのところに、見事な群落広がっていた。

ウワミズザクラ

白い穂状の花で、サクラと呼ばれながらも桜花のイメージではない。

植物園で「食と植」という企画展示が予定され、珍しい食べ方で食べられている植物を探すことになった。その折、中越地方では、このつぼみを塩漬けにして「あんにんご」といって食べていると聞いたのを思い出した。長岡の友人に問い合わせたところ、旧川口町の道の駅で瓶詰めにして販売しているとのことであり、手に入れることができた。そして、企画展示会のときには、来館された皆さんから試食していただいた。



ウワミズザクラの巨木

オキナグサ

オキナグサは、果実が老人の白髪に似た形になるのでこの名が付いた。絶滅が危惧される植物に含まれている。

魚沼市の棚田の畦の斜面に、オキナグサの自生の群落があり、新潟県立植物園ではその



オキナグサ (花)



オキナグサ (果実)



修復後の棚田の畦

群落の保全活動を行っていた。ところが、平成16年10月に起きた

中越地震により

この斜面に割れ目ができ、修復しなければならなくなった。オキナグサも危険な状態になったのであるが、地域の人たちの協力により、斜面を修復するとともに株の植え戻しも行うことができた。

中越地震から1年半が過ぎた平成18年5月末、その自生地の現状調査に同行させてもらった。オキナグサは見事に復活していたが、周りの棚田はまだ崩れた斜面が多く、大型重機がうなりをあげる復旧作業の真っ最中であった。

カラスノエンドウ

カラスノエンドウの名前は、赤花のサヤエンドウに似ていて果実が熟すと莢(さや)が黒くなる。そこで、カラスの名が付き、野原に生育するので“カラス野エンドウ”という説がある。



カラスノエンドウ



カスマグサ



スズメノエンドウ

我が家の畑で巻きひげのないカラスノエンドウを見つけた。県立植物園へ持っていったが、はじめは「ツルが切れたのだろう」とか、「種をまいて来年確認しよう」と取り合ってくれなかった。ところが、「牧野植物大図鑑」を調べるとツルナシカラスノエンドウと記載されており、標本にすることになった。植物園の標本に“採集地”に自宅の住所が、“採集者”には自分の名前が残ることになったのである。



ヒナカラスノエンドウ
また、帰化種のヒナカラスノエンドウや、

ツルナシカラスノエンドウ 花が小さいスズメノエンドウがある。さらに、カラスとスズメとの中間の大きさのものもあり、カとスの間なのでカスマグサと命名されたのは愛嬌というものである。

アヤメ

「いずれアヤメかカキツバタ」ということばがあるとおり、アヤメ、カキツバタ、ノハナショウブなどアヤメ科の花は区別が付きにくい。

外側の大きなはなびらの模様で区別してみると、アヤメは網目模様があり、カキツバタ



アヤメ



カキツバタ



ハナショウブ



アヤメ カキツバタ ハナショウブ

は白色、ノハナショウブは黄色の筋がある。新発田市・五十公野公園、阿賀野市・瓢湖や山形県長井市などに“あやめ園”がある。しかし、そのアヤメとは、実はハナショウブなのである。それは、ノハナショウブを改良した園芸品種で、赤紫色の原種に比べ、白色や濃い赤紫、また絞りなどの変化が楽しめる。



新発田市・五十公野公園の“あやめ園”

ヒメサユリ

新潟、山形と福島県の山地に自生する貴重なユリで、薄桃色の可憐な花が横向きに咲く。

三条市（旧下田村）の名所・八木鼻の隣に山城があった。下田長尾氏の居城・高城である。この城跡に通じる山道は「ひめさゆりの小径」と名付けられ、その両脇にヒメサユリの群落がつづいている。群落が終わるあたりに展望台があり、正面





「ひめさゆりの小径」の群落
に守門岳がそびえていた。城跡まであと 20
分位とのことであったが、残念ながら引き返
してしまった。

エゾタンポポ



エゾタンポポは東日本に
分布し、花のもとを外側か
ら包んでいる緑色の部分が
外側に反り返っていない。
仲間に、カントウタンポポ、
トウカイタンポポ、カンサ
イタンポポのほか、九州などに分布するシロ
バナタンポポがある。また、帰化植物でセイ
ヨウタンポポがあり、緑色の部分が外側に反
り返っている。



エゾタンポポ



シロバナタンポポ

セイヨウタンポポ

花びらをむしるのが
大好きな女の子。
タンポポの綿毛を見
つけてむしり始めた。
そのとき、指先に焦
点をあてて撮影した
写真を、「『會津八一



綿毛をむしる少女
の歌を映す』写真コンテスト」に応募し、入
選することができた。

「初夏の風となりぬと みほとけは
お指のうれに ほの知らすらし」

トビシマカンゾウ

トビシマカンゾウは、佐渡島、粟島と山形
県の飛島だけに自生する。

佐渡島の北端に大野亀という巨大な岩があ
る。そこは、6月上旬になるとトビシマカン
ゾウが咲き始め、一
面黄色に染まる。



トビシマカンゾウ

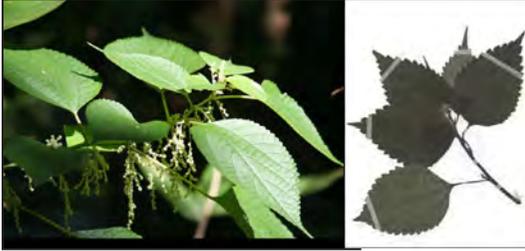
家族旅行で訪れた
時、外海府の海の青
とカンゾウの黄色
の、絶妙な光景を目
にすることができ
た。



佐渡市・大野亀

カラムシ

カラムシは青苧（アサ）ともいわれ、茎の皮を蒸して採った繊維が麻糸であり、越後上布や小千谷縮などに織られている。また、上杉謙信の時代には領民に栽培を推奨し、その税収が上杉軍の財政を支えた。



上杉謙信公像



伝統工芸品シリーズ切手
小千谷縮

友人が主宰する熟年の会の勉強会で、ボランティアとして手伝っている植物園の話をしてほしいとの依頼があった。その折、「植物標本」を紹介するのにカラムシの標本を持参した。参加の皆さんは、越後上布や小千谷縮のことは知っていても、その原料までは見たことがなかったらしく、興味を示してくれたのはうれしかった。

ナンバンギセル

ススキやミョウガの根に寄生し、花は淡い紫色、筒型で先が浅く裂けている。稀に白花もある。仲間にオオナンバンギセルがあり、花は一回り大きく、先が大きく反っている。奈良時代から室町時代までは「思い草」という名前であった。江戸時代になって、南蛮人（ポルトガル人など）がタバコを吹かすパイプ（煙管）に似ているのでこの名前がついた。父のところへ来られたお客様にお見せしたの



オオナンバンギセル



ナンバンギセル（白花）

であるが、帰宅された後にお礼の電話を下さった。父は生憎外出していたので、代わってお話したところ「珍しいマドロスパイプの花を見せていただきまして・・・」といわれた。それは、ナンバンギセルのことであるらしいとの笑い話になったのであった。

ヒガンバナ

秋の彼岸の頃になると、何もなかったところから突然芽を出し、花を咲かす。新潟市付近では、栽培されたものしか見かけないが、佐渡・新穂の道路脇の土手にはかなりの自生群落があった。

その後、滋賀県の彦根へでかけた折、途中の東海道新幹線・岐阜羽島付近の車窓から、野原一面真っ赤に咲くのを見ることができた。一方、彦根城の苔むした石垣には、たった一輪が寂しそうに咲いていたのであった。

つづく



佐渡市新穂 2008.9.25



彦根城 2008.9.27



ホームページの開設

昨年、会員の皆様にご案内いたしました稲門フィラテリーのホームページをこの4月15日に公開いたしました。ホームページの中身は昨年末にすでに出来上がっていましたが、公開するための編集に時間を要し、公開するのが遅くなってしまいました。

ホームページのアドレスは、

<http://www.talcen.com/tofla.html>

で、次の内容で構成されております。

1. 稲門フィラテリー会報の紹介
2. 切手教室の紹介



3. 新宿北郵便局における常設切手展の紹介
4. 稲門フィラテリーの活動予定
5. 各種郵趣施設、団体へのリンク
6. 問合せ

このホームページは、現在、会長の事務所のサーバーに収容されております。いずれ、会独自のサーバーを用意して、そちらに移行することを考える必要があると思います。

当ホームページを閲覧いただき、いろいろなお意見を次のアドレスに頂戴いただければ幸いです。どうぞよろしくお願致します。

tomon@talcen.com



愛国切手の提案者 土井英一について

井上武志

1937(昭和12)年に発行された日本最初の寄附金付切手である愛国切手は、「荒城の月」を作詞した土井晩翠(1871-1952)の長男土井英一(1909-1933)の提案が発端となって発行されました。

土井英一は小学校時代、教師に飛び級を勧められ、五年次修了後に旧制仙台一中に入学したほどの秀才でした。仙台一中時代にエスペラント語を独学で習得、旧制第二高等学校に進んでからは二高エスペラント会を再興しています。ヨーロッパの文通相手と手紙をやりとりするうち、外国で発行されている寄附金付切手の存在を知り、自身も結核であったため慈善切手の発行を各方面に働きかけるようになりまし

た。1930(昭和5)年10月9日の『東京日日新聞』紙上には、英一によるハンセン病・結核患者のための慈善切手の発行の呼びかけが掲載されています。



土井英一

1932(昭和7)年、土井英一は晩翠を通じて、地元出身の衆議院議員内ヶ崎作三郎(元早稲田大学教授)にヨーロッパ各国の事例をあげて慈善切手の発行を相談しました。内ヶ崎は時局に合わせて、逓信省管轄の民間航空

事業助成のためと目的を変更、1935(昭和10)年3月には「愛国郵便切手発行ニ関スル建議案」が本会議を通過、1937(昭和12)年6月1



内ヶ崎作三郎

日に「愛国切手」として、日本で第一号の寄附金付切手が発行されました。



しかし、この切手が発行されたとき、土井英一はすでにこの世の人ではありませんでした。切手発行の4年前、1933年に享年25歳で世を去ったのです。英一が当初想定していた発行目的も変更されてしまい、英一が心から喜んでくれたかどうかはわかりません。

ただ、英一が提唱した慈善切手の思想は戦後、1947(昭和22)年に発行された共同募金切手により実現されました。その後、オリンピック東京大会募金切手(1961-64年)、がん征圧運動寄附金切手(1966年)、高松塚古墳保存基金(1972年)、東日本大震災寄附金切手(2011年)など、現在まで脈々と受

け継がれています。

土井晩翠は、長男英一だけでなく長女や次女も結核で失い、八重夫人にも先立たれ、教え子の支援により戦後の生活を送りました。現在では、仙台市青葉区の旧宅の近くに「晩翠通り」が残り、毎日市民に愛唱され、尊敬されています。

図1は土井英一がエスペラント語のペンフレンドに送った現存唯一の手紙です。シベ

リア経由でスイスまで送られています。昭和3年11月26日付の仙台局(仙臺)の櫛型印が押されています。土井英一の姓の読みは「つちい」でしたが、昭和12年ごろ「どい」と呼びかたを変えています。この封筒の裏面に記された差出人の名前は「TSUCHII」と旧読みになっています。



図1 土井英一のスイス宛ての手紙

日本の寄付金付切手一覧

内容	種類
1 愛国募金	3
2 シンガポール陥落	2
3 大東亜戦争1年	2
4 共同募金	1
5 赤十字・共同募金 小型シート内2種 ※	4
6 オリンピック募金 6回に分けて発行	20
7 ガン征圧運動	2
8 万国博覧会募金 2回に分けて発行	2
9 冬季オリンピック募金	2
10 古墳壁画	3
11 沖縄海洋博覧会募金	1
12 国際障害者年	1
13 国際科学技術博覧会募金	1
14 国際花と緑の博覧会 2回に分けて発行	2
15 世界ろうあ者会議	1
16 1995 切手趣味週間 阪神淡路大震災寄付	1
17 長野オリンピック募金	2
18 年賀切手 1991～2019年まで29年間	58
19 北の大地 II 有珠山噴火災害寄付金	2
20 東京ゲリーフェンク 三宅島噴火等災害寄付金付	2
21 2002FIFAワールドカップ	3
22 特別史跡キトラ古墳	2
23 2004 日本国際博覧会	2
24 動物愛護週間制定60周年記念	10
25 東日本大震災寄付金付	5
26 ラグビーワールドカップ2019	7
27 2020 東京オリンピック 2回に分けて発行	18
延べ64回発行 159種発行	

※小型シートの切手は発行切手と料額が異なる

これまで発行された寄付金付切手



発行順に各1種表示

編集子

20周年切手展準備状況

東京オリンピック／パラリンピックは、COVID-19の影響で延期になりました。また、緊急事態宣言期間も延ばされましたが、このまま、この問題が終息せず、10月の切手展に影響することのないようお願いながら、現在、準備を進めております。と申しましても、不要不急の外出自粛ということで集まって打合せすることもままならず苦勞いたしております。下記に準備の現状をご紹介します。

1. 切手展出品予定者：現在13名+ 当会紹介

- ① 西村会員 ② 小林会員 ③ 小川会員 ④ 荒木会員 ⑤ 伊藤会員
- ⑥ 井上会員 ⑦ 山田会員 ⑧ 稲葉会員 ⑨ 鎌倉会員 ⑩ 和田会員
- ⑪ 池澤会員 ⑫ 榎沢会員 ⑬ 稲門フィラテリー ⑭ 青柳会員

展示フレーム数は上限50フレームですが既に展示フレーム数を上回る作品が寄せられています。5月末を目途に展示作品を決定する予定です。

2. 大隈講堂切手提供

提供者3名：210枚

3. 今後の準備

小型印、切手展カタログ、ポスター、記念カバー等の原案作成など、まだいくつかの準備が残っています。今後、会員各位のご協力を仰ぐことがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

なお、切手展へは、1リーフでの出品も可能ですので、ご検討いただきたくお願い致します。また、大隈講堂切手のご提供もよろしくお願い致します。

2020.6.1. 実行委員長：荒木寛隆

副実行委員長：池澤克就

第50回 稲門フィラテリー常設切手展 「元号表記のある記念切手」

昨年5月、元号が平成から令和になりました。これに伴い記念（特殊）切手に元号が表記される場合「令和×年」になりました。

その第1号は令和元年10月15日に発行された「日本オーストリア友好150周年」記念切手、続いて10月18日には天皇陛下の御即位を記念して「天皇陛下御即位記念」記念切手が発行されました。

日本で発行された記念切手ではじめて元号が表記されたのは大正8年、その後元号は表記されたりされなかったりして現在に至っています。今回の展示では、その元号表記の変遷を例示しながら振り返りました。

記 磯野 昭彦

西暦の表示

切手に西暦表示がされたのは1945年戦後になってからと考えられるが、意外な形で1939年に小型シートであるが、カッコ付きで表示されている。しかも、別の4桁の年表示とである。戦前に用いられた紀元という年号である。



1939年発行
大山、瀬戸内海国立公園
小型シート

切手の表示は1949年発行日本貿易博覧会切手に大きく表示されたのが最初だと考えられる。



気になるクラスター

3月になり突如としてあらゆるメディアにクラスターという言葉がクラスター爆弾のごとく炸裂しました。ふと、別なるクラスターの存在が気になりました。それは14年前の会報20号（2006年発行）の記事中のクラスターの変化である。世界101カ国の1840年から160年間の切手発行のDATAを統計解析法クラスター分析の結果のクラスターである。101カ国は切手乱発国クラスター18ヶ国とそうでないクラスター82ヶ国、そして超乱発国RUSSIA、TANZANIAに分類できた。2つのクラスターはさらに6つのクラスターに分類された。我が国はブラジル、イタリア、フランス等、10ヶ国とクラスターを構成していた。

20号から14年、我が国の切手発行の激

緊急事態宣言の影響

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言に伴い、会の活動にも影響が出てしまってます。

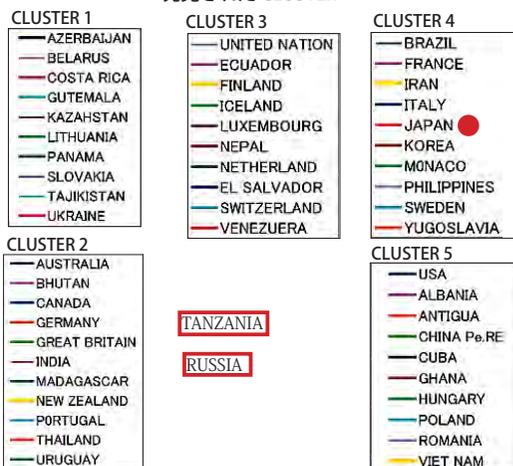
幹事会が開けなくなり10月の20周年記念切手展の準備に影響が出ないか心配です。また、切手教室も開けずにおります。幸いにも会報の編集は会員の皆様の協力で編集を終ることでできましたが、幹事会が開けないため小西会員の事務所での幹事による発送作業できません。前号と本号も個人の好意によってお手元にお届けできています。コロナとの長い共存が必要であることを考えると何らかの対策が必要です。まず、電子版会報の購読をお願いしたいと思います。（編集子）

■編集後記

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言により、ホームステイの中。テレワーク、オンライン授業、Skypeの利用などでIT機器の普及が一段と進んだ。ますます、手紙の利用はすくなっていくことは確実である。新しい視点、発想で郵便を魅力あるものにしていくことが求められ、その中で現在の切手の存在を考える。

変を考えるとまだ仲良くクラスターに入っているか甚だ疑問を感じる。多分どのクラスターにも入れてもらえず寂しく孤立しているのではないだろうか。

発見された CLUSTER



★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第51回 1964年東京オリンピック

2020年6月1日から9月初旬

ホームページからの願い

ご覧いただき、お判りいただけるように資料に欠けているものがあります。常設展資料、切手教室のレジュメに多く見られます。お手元に該当するレジュメがありましたら

tomon@talcen.com までご連絡ください。

また、ご意見、提案等がありましたら連絡ください。

発行日：2020年6月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳次男

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵便代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。